

【特集】わが町の風力発電所

2月19日と23日の2日間、風力発電に係る講演会の第3弾となる「わが町の風力発電所」(講師…株式会社柳山ウインドファーム代表取締役社長 永田 善三氏)が開催されました。

今回の特集では、鹿児島県薩摩川内市内にて、地域住民とともに風車を活かした地域活動も展開する株式会社柳山ウインドファームの例を参考に川俣町での風力発電のあり方を考えます。



△会場は山木屋、小綱木、飯坂の各地区公民館と保健センターで新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催となった。

土地を活かしたまちづくりで 地域を守っていききたい

株式会社 柳山ウインドファーム
代表取締役社長 永田 善三



柳山ウインドファーム構想のきっかけは、平成16年の市町村合併に伴うまちづくり提言に始まり、「再生可能エネルギーも必要だ」という声上がり、風力発電について地域住民と学ぶ「せんだい風の会」を立ち上げました。この構想を実現するまでに10年の歳月がかかりました。それは「風力発電は地域振興に貢献するものでなければならない」との考えのもと、風力発電を活かした地域振興について、地域住民へ丁寧に

説明し、対話する時間を大切にしました。遊休地となっていた柳山と風車を結びつけた地域づくりについて何度も話し合い、今も地域住民と一体となって「柳山アグリランド」と「柳山風車公園」の2つの施設で地域活動を展開しています。風力発電事業をより良いものとするためには、事前に事業者・住民・行政の3者が相談・協力し合って、風力発電事業に取り組んでいくことがとても大切だと思います。

柳山ウインドファーム風力発電所

設置場所 鹿児島県薩摩川内市高江町柳山から久見崎町笠山周辺
風車規模 定格出力 27,600kw (2,300kw × 12 基)
事業期間 20 年間
発電規模 約 17,000 世帯
工事着工 平成 25 年 3 月
運転開始 平成 26 年 10 月 1 日



柳山ウインドファーム × 地域住民

株式会社柳山ウインドファームと地域住民の協働によって住民が主体となった地域づくりが進められています。

柳山アグリランド / 柳山風車公園

柳山アグリランドは、自然との共生を演出し、季節ごとの花と山頂の眺望で癒しの空間を観光客に提供する自然観光公園です。

この公園は地区のシンボルとして定住促進を目的に、荒地になっていた約3ヘクタールを住民が整地しました。

また、隣接する柳山風車公園では風車の大きさと風の音を目の当たりに体感でき、再生可能エネルギーの視察、研修の場としても活用されています。近年では地元の小学校の授業で見学をするなど教育の場でも活用されています。



やなぎやま村

薩摩川内市峰山地区の住民と株式会社柳山ウインドファームの有志50人による任意団体である「やなぎやま村」では四季に合わせたイベントを開催するほか喫茶店「風の丘 やなぎやま」の運営や地元産農産物や加工品、そして柳山アグリランドで育てたサツマイモで作る芋焼酎の販売も行っています。また、観光農園を視野に入れブルーベリー等の果樹栽培も始めています。



○柳山アグリランドで開催される季節ごとのイベント

春



桜まつり

夏



サンセット (ピアガーデン)

秋



コスモス祭り
(ウオーキング in 柳山)

冬



初日の祝い